

## 平成26年（2014年）アトサヌプリの火山活動

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

## 発表中の火山現象に関する警報等

平成19年12月1日10時20分	噴火予報（平常）
------------------	----------

## 2014年の活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1- 、図2～5）

F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

3月4日に実施した上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、各火口の状況に特段の変化はありませんでした。

- ・地震及び微動の発生状況（図1- 、図6）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

- ・地殻変動の状況（図1- ）

GNSS連続観測<sup>1)</sup>では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

- ・その他（図6）

11月14日04時47分にアトサヌプリの北東約7km付近でマグニチュード4.2の地震が発生し、弟子屈町サワンチサップで震度3を観測したほか、10月22日にもアトサヌプリの西方約5km付近でマグニチュード2.3の地震が発生し、震度2を観測しました。これらの地震発生前後で火山活動に変化はありませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

---

この資料は札幌管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。また、同院発行の『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平26情複、第658号）。

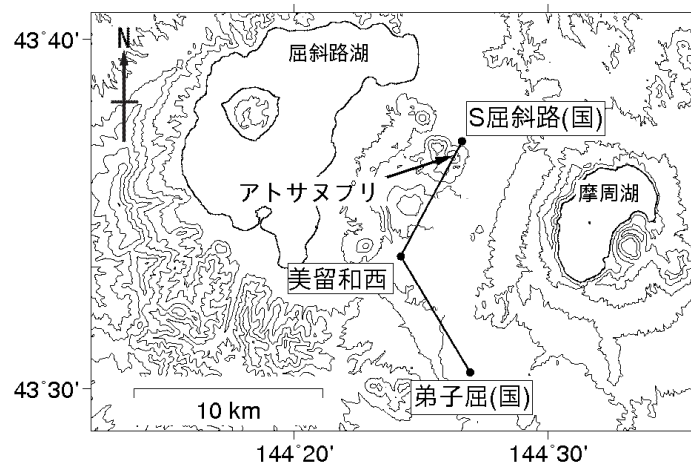
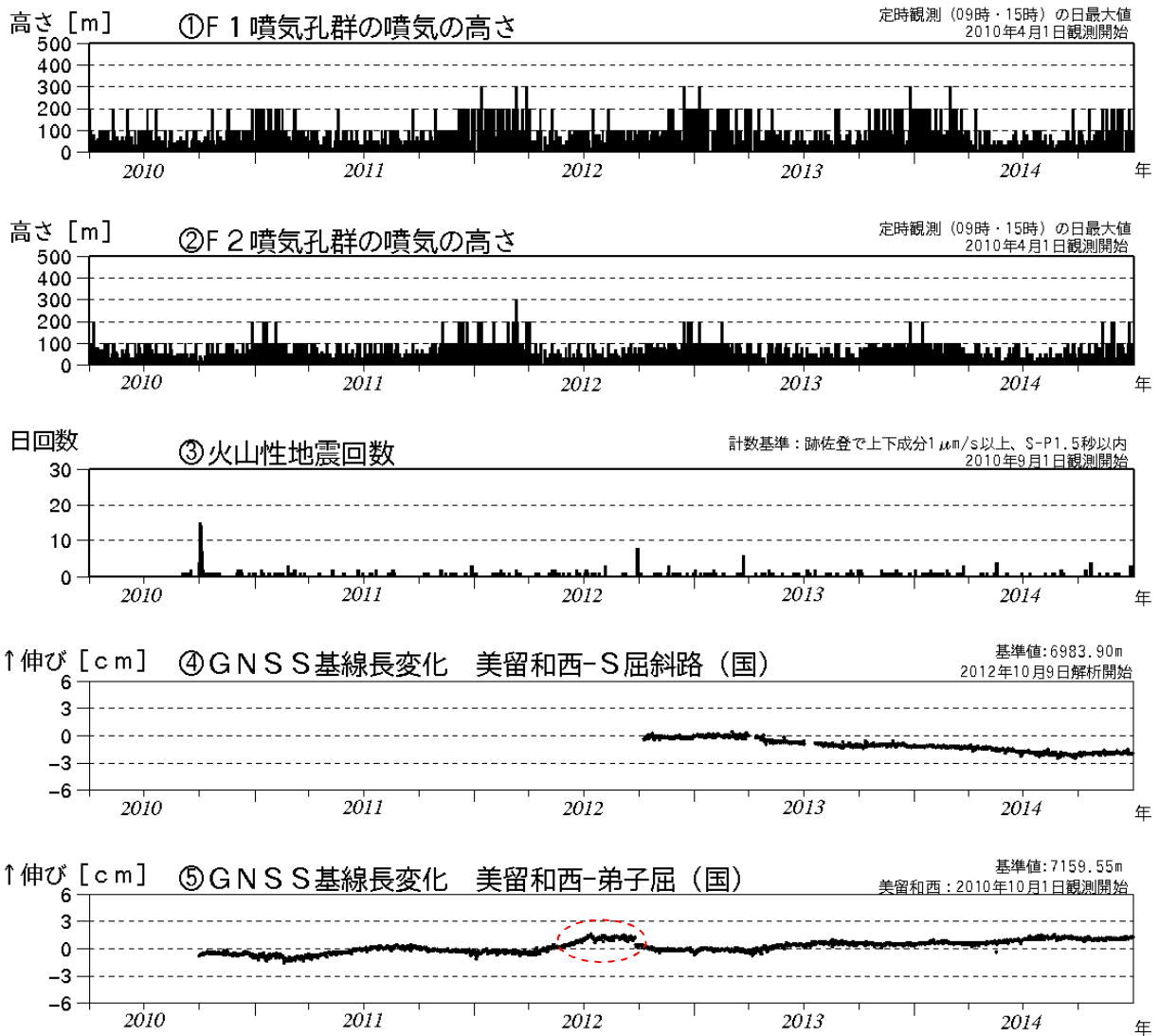


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図 (2010年4月～2014年12月) 及びGNSS連続観測点配置図

- ・ GNSS基線の 空白部分は欠測を示します
- ・ GNSS基線の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影 響及び伐採 (2012年9月下旬) によるものです
- ・ (国): 国土地理院

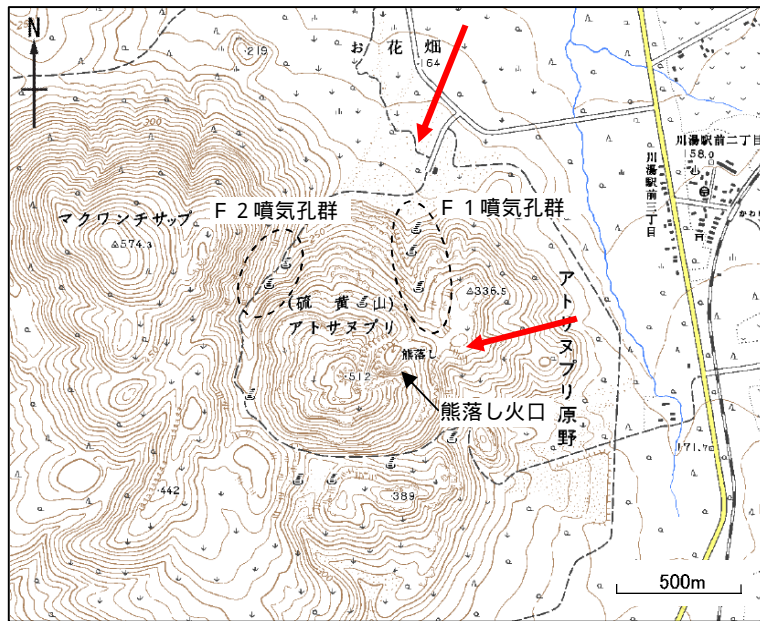


図 2 アトサヌプリ 写真の撮影方向

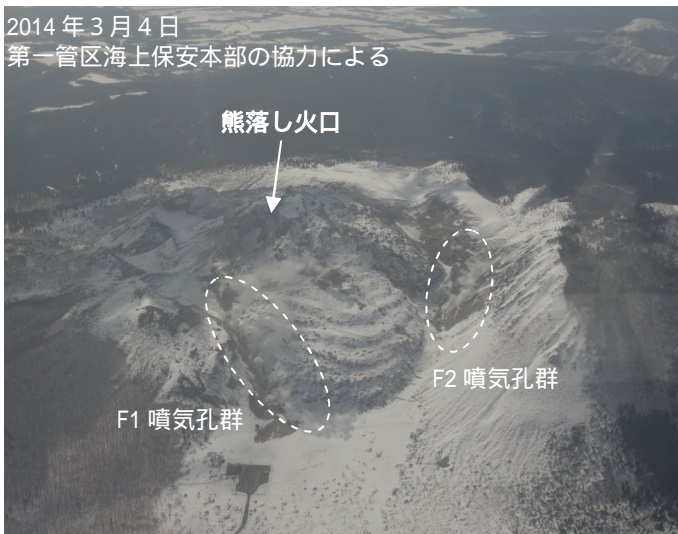


図 3 アトサヌプリ 全景(図 2 - から撮影)

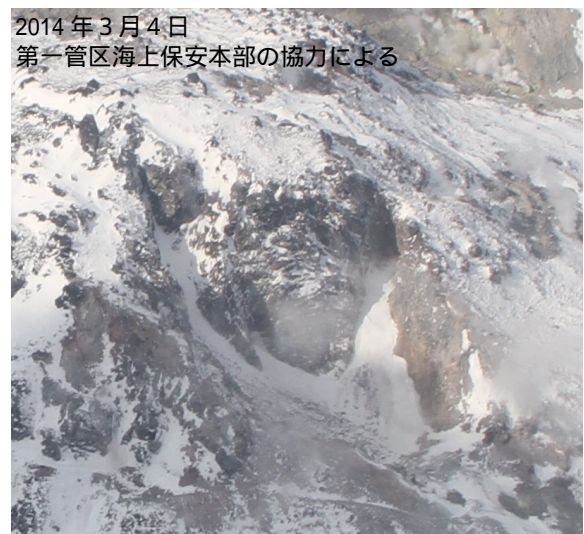


図 4 アトサヌプリ 熊落し火口(図 2 - から撮影)



図5 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況  
(11月24日、北東山麓遠望カメラによる)

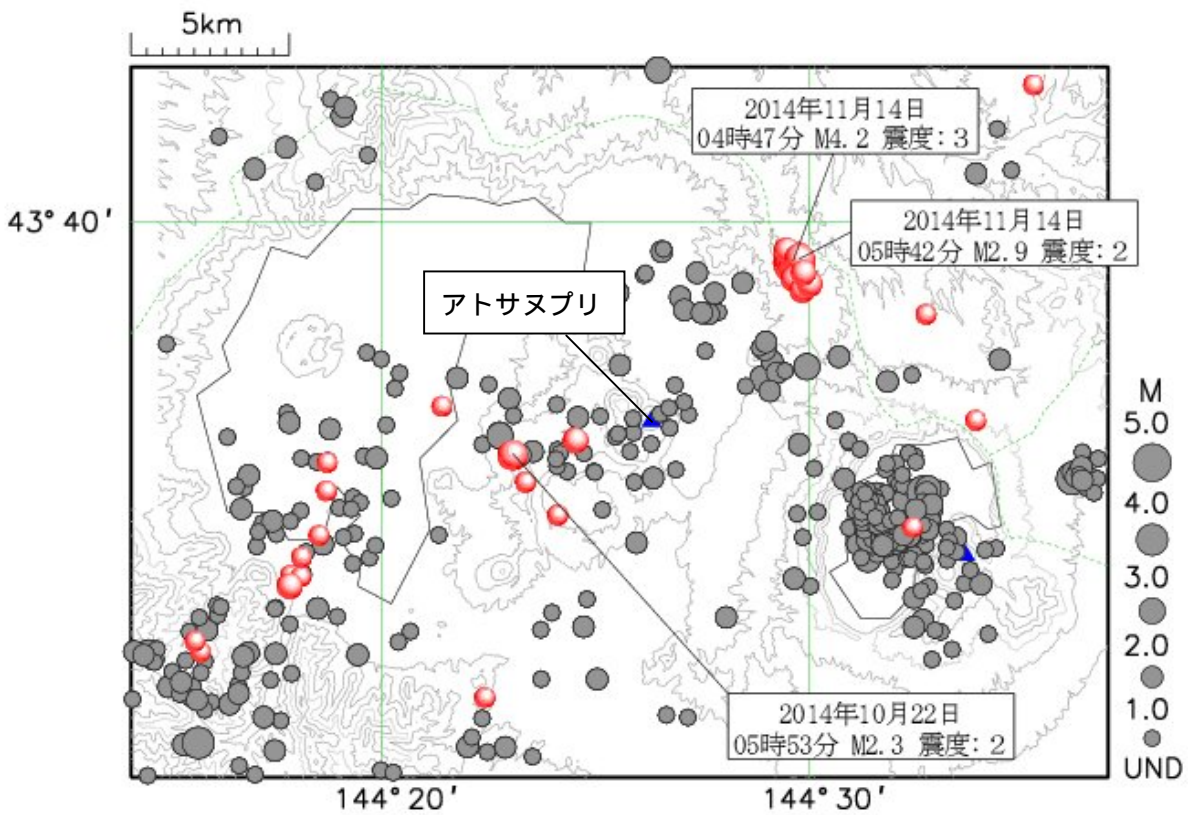


図6 アトサヌプリ 広域地震観測網による山体周辺の地震活動  
(1997年1月1日～2014年12月31日、M 0、深さ30km以浅)  
・2014年に発生した地震を赤いシンボルで表示しています



観測点情報

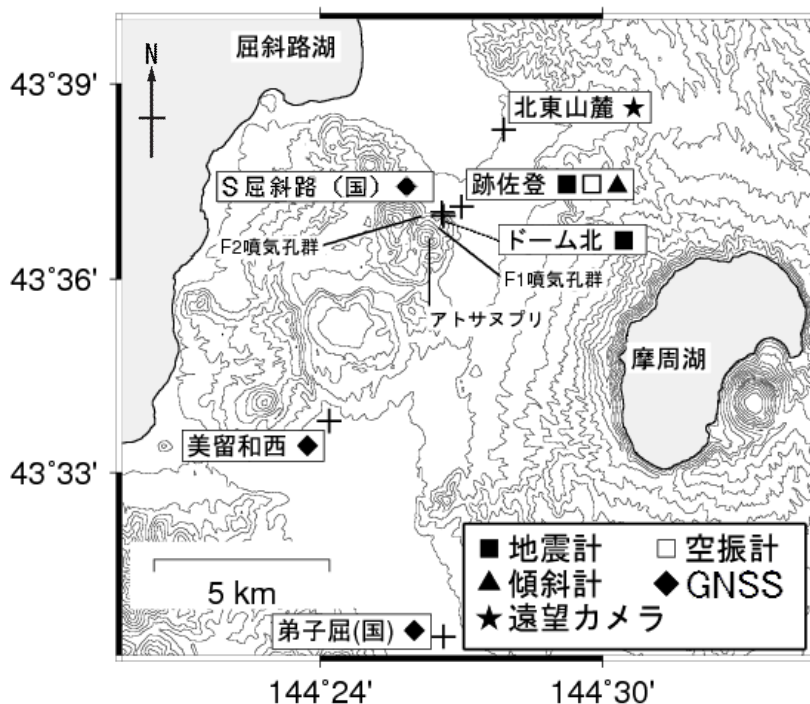


図7 アトサヌプリ 観測点配置図  
 +印は観測点の位置を示します  
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています  
 (国): 国土地理院

観測点一覧表 アトサヌプリ (気象庁設置分、緯度・経度は世界測地系)  
 記号は図7に対応しています。

記号	観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日
			緯度(度分)	経度(度分)	標高 (m)		
	地震計	ドーム北	43 36.97	144 26.62	210	0	2008年11月19日
		跡佐登	43 37.11	144 27.01	156	-154	2010年9月1日
	空振計	跡佐登	43 37.1	144 27.0	156	2	2010年9月1日
	遠望カメラ	北東山麓	43 38.3	144 27.9	149	6	2010年4月1日
	GNSS	美留和西	43 33.8	144 24.2	172	4	2010年10月1日
	傾斜計	跡佐登	43 37.1	144 27.0	156	-154	2011年4月1日